



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 Rotary: Making a Difference

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榊岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2018年3月28日 第2329回例会 VOL. 49 No. 34

- 司 会 SAA 五十嵐 正
- 開会点鐘 会 長 滝澤 亮
- 斉 唱 それでこそロータリー
- 出席報告

会員数	31名	本日の出席数	22名
本日の出席率	81.48%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

大川、北澤、佐藤（真）、斎藤、二宮（麻）

■他クラブ出席者

増田（新横浜 RC）

■皆出席者表彰



増田嘉一郎会員 28年

■会長報告

皆様、こんにちは。19日には横浜市旭区50周年記念事業実行委員会の第2回会議に佐藤真吾副会長とともに参加してまいりました。

当会の50周年も本格的に考えなければと思います。

21日に季節外れの雪が降りましたが、笛田元会員の偲ぶ会が開かれ、ご子息、お嬢様もご参加くださり、多数の参加者で催されました。ご主催いただきました兵藤会員、幹事の目黒会員、本当に有難うございました。

24日には、がんセンターで第2回目のがんセミナーが開催され、4名の講師を迎えて、会場いっぱいの観客を集客できました。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のおしらせ

○神奈川ロータリークラブ

日時 4月30日(月)休会

日時 6月11日(月)夜間例会

点鐘 午後6時半

創立58周年記念例会

■臨時総会 議長 滝澤 亮

議題、次年度会費改正の件

否決、再度検討をする。

■地区研修・協議会にあたってのお願い事

安藤 公一

地区研修・協議会について

日時 4月1日(日)

場所 聖光学院

* 教育施設をお借りして開催することに、ご

理解御協力を下さいますようお願い申し上げます。

①登録 11時30分から12時20分

②メイクアップカードにはクラブ名、名前を各自記入

③学校食堂において昼食を用意

・食券のお渡し～各自受け取る

時間 11時30分から12時15分

場所 食堂入り口近く食券配布コーナー

④聖光学院最寄駅 JR根岸線山手駅徒歩8分
駐車場の用意がないので公共交通機関をご利用ください。

■本山会員から退会のご挨拶



この度、転勤することになりました。2年間という短い期間で奉仕活動にはあまり貢献することが出来ませんでした。移動例会やゴルフなどで皆様とは懇親を深めることができ、記憶に残るロータリーとなりました。

本当にありがとうございました。

■雑誌委員会 内田 敏

ロータリーの友誌3月号紹介

○横組み

P.3 ローターアクト50周年を祝いましょう。

1968年に創設されてからローターアクトクラブが今月で50年を迎える記事の掲載。

ロータリークラブが存在する世界の国々で1万を超えるローターアクトクラブがあり、推定25万人のローターアクトが活動している。

P.7～15 3月は水と衛生月間

1滴の水から広がる奉仕。仙台RC、さいたま樺RC、彦根RCの活動が掲載。

○横組み

P.6～20 ローターアクトの関連記事。

ローターアクトからロータリアンになられた方々の記事。

P.21～24 心は共に。東日本大震災の記事。

P.23に岩沼RC「千年希望の丘」を造成する為に33,000人のボランティアを募り、28万本の苗木の植樹、当初想定していた植樹数をほぼ達成されたという記事が掲載されています。

P.26～29 ガバナーのロータリーモメントの記事。

P.29に当地区の湯川ガバナーの「ガバナーになって感じたこと」が掲載。

P.31～VISION QUEST

バリー・ラシンRI国際ロータリー会長エレクトがロータリーの現状と彼が導きたい方向性、そしてロータリーが自身の人生をどのように変えたかを語った記事が掲載されています。この中で2018～19年度バリー・ラシンRI会長の次年度テーマ「インスピレーションになろう」が発表されました。

P.4～8 SPEECH

今から始める長生きのための食生活の秘訣の記事。健康長寿と言われる長野県民が1日の食事にかかる時間104分。健康な人が健康でいるためには野菜1日350グラム取りましょう。

私たちの体が長生きする為に必要な4つのスタメンがあるということ。

①主食～エネルギー源である炭水化物

②主菜～体をつくるたんぱく質

③副菜～野菜やキノコといったビタミンやミネラルを供給する食べ物

④汁物～塩分系のもの。

食材は大切だけど、そうは言っても食事を楽しく取る事が大事。

P.13～17 友愛の広場

P.16の上段に「柳壇」を巡るあれこれ。

神奈川東RCの記事があります。「ロータリーの友」への関心を深めるためロータリー「柳壇」欄に集中的に投稿し、友誌上にクラブ名が毎月必ず載るようにしましょう、と行うことで

同好会を設け2月号まで7ヶ月連続で川柳と共にクラブ名が紹介され、当初の目的が果たされつつあるという記事。

因みに当クラブでも吉原さんが度々投稿されております。

ぜひ、友誌を読んで下さい。

■ 5分間情報 新川 尚
○アーサー・フレデリック・シェルドンについて

この文は「ザ・ロータリアン」1955年3月号掲載の「Sheldon...A name To Remember」を訳したものだそうです。

大柄のたくましい人でした。思い切り左よりのところで髪を分け、豊かな髪が広い額にかかっていました。彼はいつも人なつっこさを漂わせ、家族の人達もそうでした。シェルドン夫人は才能豊かなピアニストで、アーサーはチェロを弾きました。それぞれに色々な楽器を演奏する子どもさんたちとファミリーオーケストラを編成していました。そのダイナミックなハーモニーはシェルドンを特徴づけていた人間関係のハーモニーを象徴しているようでした。

今でも思い出します。アーサーの声は郎々としていて、彼がしゃべると人々は良識と博識と理想主義に裏付けられた彼の言葉に聞き惚れ、そして思いを巡らせたものでした。彼の理想主義は往時のフレンチ-インディアン戦争(1755～63年)に従軍した人もいる、ニューイングランドの祖先たちから受け継いだのです。

1868年ミシガン州ヴァーノンに生を受けた彼はミシガン大学を卒業すると、当時の多くの学生同様に、教育書を販売することによって生計を立てる事にしました。

「幸せな家庭とその作り方」という表題の重い本を彼はいつも用意していました。もし、ワイオミングの牧場の家などでこの本を見つけたとしたら、あなたはかつてアーサーが辿った道に遭遇したのです。

彼は自転車を駆ってワイオミング州の人里離れた大草原で働く孤独な牧童たちに情操を

培う書物を買ってまわったのでした。しかし轍は深く、丘は険しかったので、彼は自転車と、多分その上に1～2冊の本も加えて牧牛用の仔馬と交換したこともありました。彼の売り上げは上々だったので、1893年にワーナー商會は彼により有望なテリトリーを与え百科事典を販売させました。6年後には彼はシカゴで自らの出版会社を經營するようになりました。そしてこの会社は成功しました。

しかし大学での理論上の心理学と現場での実践的なそれとによって調和された彼の精神には深遠な思想が醸成されつつあったのです。

その思想は、商人が日常「買い主注意せよ」の原則に従って事業を管理し、商売上の賄賂のやり取りが横行していたというような時代においては、未聞の考え方でした。というのはアーサーは利益というものは利己主義よりも深い人間性に根差した目的と結びつくべきだと信じたのですから。

彼は職業は社会の利益に奉仕しようという願望にほかならないという新たな強調を必要としていることを確信したのでした。商人が、この原理を適用すれば彼は利益を得るでしょう。これらのことは1902年に彼がシカゴに設立した「シェルドン式販売学専門学校」で教えてきた考えがあったのです。

ポール・ハリスが、いつアーサー・フレデリック・シェルドンと会ったかについては記録がありません。1905年か1906年であったかもしれませんが、確かに言える事は1907年より遅くはないということなのです。なぜかといえば、1908年1月にアーサーは世界で唯一のロータリークラブの会員になったからです。

二人ともいかに急速に友情が深まったかについて話してくれました。混雑して荒々しくて騒々しい街で彼らは善きことを為すために大学で訓練された若者でした。ポールは大理石の販売員をしたことがあり、商売取引についてこれを正当化するアーサーの哲学理論に敏速に共感を寄せ、そしてその中に彼が注意深く探し求めていた理想主義を見つけたのです。

シェルドンは私たちの仲間にとっての
人だった。ポールは、彼の没後に出版された
「ロータリーへの道」の中でそう書いていま
す。彼は販売技術の学校を創立したが、その
理念は…職業の成功は奉仕を与えるか否かにか
かっている。そして職業というものは、それ
にかかわるすべての当事者が、その取引に
よって利益を得るものでなければ正当化され
ない、というものだった。

シェルドン博士は職業における私たちの奉
仕の責務について、よりはっきりと理解を得
させてくれた。

私たちは「もっともよく奉仕する者、最も
多く報いられる」というスローガンをもた
らしてくれたことに対し、彼に感謝しな
ければならない。

■ニコニコ BOX（会員敬称略）

滝澤 亮／宋さん、卓話よろしくお願
い致します。

田川 富男／3月24日がんセミナーに多
数のご参加頂きまして、ありがとうございました。

本山 雄三／皆様、大変お世話になりま
した。ありがとうございました。

増田嘉一郎／皆出席祝いをいただきました。
まだまだ出席免除を得ることなく、頑張
るつもりです。

吉原 則光／初夏を思わせる陽気の中
での例会。宋さんの卓話楽しみです。よ
ろしくお願いします。

青木 邦弘／①皆様のおかげで富士登
山50名が集まりました。岡田さんにはド
ーナツの差し入れをいただきました。②
妻にお花を！ありがとうございました。

兵藤 哲夫／がんセミナー大川会員は
じめ役付きの方、ない方、それぞれき
びきびと働く姿をみて改めて旭ロータ
リークラブって良いクラブだなあと思
いました！

安藤 公一／①宋さん、卓話宜しくお
願いします。②本日配られたタウンニ
ュース一面右下にあるようにおかげ様
でカーブス鶴ヶ峰が4/12に10周年
を迎える事となりました。

市川 慎二／宋さん、卓話楽しみにし
ていま

す。

太田 勝典／①がんセミナー大川先
生始め担当者の皆様、盛況で何より
でした。②宋さん、卓話楽しみです。

内田 敏／宋さん、本日の卓話楽
しみにしています。よろしくお願
い致します。

須藤 亘／春らしく暖かい季節
となりました。本日の卓話、宋さん
宜しくお願い致します。

■卓話

「第2590地区インターアクト海外
研修 IN 台湾」



「インターアクト」との出会いは2016
年の学友会総会でした。総会報告上に
「インターアクト海外研修 IN シンガ
ポール成果」の紹介を聞き、「楽しそう
、やってみたい」と思い、当時のIA
委員長一水谷さん（横浜西RC）に
自己推薦をしました。通訳として、201
6年12月のインターアクト海外研修
を同行させて頂きました。昨年、同行
通訳は急に辞退した為、私が又参加
する事ができました。

本日、主に皆様に昨年のIA海外研
修についてお話しをしたいと思います。



○事前研修



出発する前に、オリエンテーションを3回を行います。オリエンテーションの内容は主に「IA 海外研修の目的と注意事項」「台湾のIA と交流する為の演目」と「台湾についての学習」等。私がこの3回のオリエンテーションの中に「言語研修」と「台湾についての学習」を担当しました。

○社会奉仕活動



今回の海外研修行程に台湾の IA と共に2つの社会奉仕活動を行います。

まず「レシート募集」です。

台湾で買物をするると自動的に宝くじが手に入ります。台湾の商店やレストラン、コンビニなどでもらうレシートは「統一發票」と呼ばれる宝くじになっています。台湾でレシートをもらったらレシートの上のほうを見てみてください。濃い字で8桁の数字が書いてあります。

この「統一發票」の抽選は2ヶ月ごとに行われ、奇数月の25日に当選番号が発表されます。

1等から6等まであり、下3桁が一致の6等は200元(約700円※)、1等は賞金200万元(約700万円※)の大当たり。

台湾中の人々が買物をした分だけ抽選券が発行されていることを考えると、当選確率は途方もなく低い・・・という現実があるので、逆に気楽に寄付する事ができます。

今回も「植物人」(脳のすべての機能が失われた状態の人)を支援するNPO団体の手伝いをし、台北駅の周辺で歩きながらレシートを募集しました。

それから、「象山でゴミ拾おう」です。

外見が象に似てる為、「象山」という名を得ました。高さは僅か183メートルですが、台北市中心からとても近いし、頂上から見た景色がとても綺麗な為、近年台北市民の間に最も人気な散策場所となりました。

ところで、「人潮が増えるに伴い、必ず大量なゴミを散らかしている」というのを台湾の現実です。

皆に環境意識を高まらせ、自然を大切にす為、台湾 IA と日本 IA を連合してゴミを拾いました。

○台湾見学地

今回の海外研修の見学場所は「台湾総統府」と「モノレール」の車庫です。

良く見れば、台湾総統府は東京駅に似てるでしょう。

実は台湾の総統府は日本統治時代に日本人



によって作られました。

上空からの写真では日本の「日」に見えますよ。その他の歴史について記述はここで省略させていただきます。

総統府の内部見学の体験を通じて、IA 達は日本と台湾との繋がりについてより一層理解できたと感じます。

台湾の「モノレール」(地下鉄)は1996年3月28日に営業し始めました。

日本の電車で最も異なる所は2つあります。1つ目は紙切符の代わりにトークンを使います。

2つ目は「飲食禁止」です。台湾で改札口に入ったら、水さえ飲めないです。違反者は最高約3万円の罰金を課かせるので、ご注意ください。



ももっとも皆さんに映像や写真を見せたかったが、あまり多すぎて(合わせて2,000枚以上があります)、イチイチ説明するのも疲れちゃうので、またここで省略させていただきます。

○感想

感想としては、台湾側との事前打ち合わせから、オリエンテーションの準備や現地での突発状況に対応等など、本当に疲れしました。

短時間に自分の目で見た IA 達の成長と変化に感動する気持ちと、ロータリアンとしての使命の達成感にもはまってしまいましたので、今年はや地を張って、来年度の IA 委員長である栗原さんに自己推薦で IA 委員会に入会させて頂きました。

因みに、今年の海外研修はまた台湾を決めたそうです。

今年の IA 達はどの表現だろうか楽しみにしています。

ご清聴ありがとうございました。

■次週の卓話

4/11 (水)

伊吾田善行様

(NPO 法人地球市民 ACT 神奈川事務局長)

「現地の人々の自立を促進する国際協力」

週報担当 吉原 則光